

第三次 鹿児島市 環境基本計画

概要版 2022-2031



計画の目的

「鹿児島市環境基本条例」の基本理念に基づき、本市の環境をより良くし、将来の世代にその環境を引き継いでいくことができるよう、環境の保全及び創造に関する目標、施策の方向その他必要な事項について定めるものです。

計画期間

2022(令和4)年度から 2031(令和13)年度までの10年間とします。

このイラストは、本市が「ゼロカーボンシティかごしま」を実現した街のイメージを描いたものです。

望ましい環境像

自然と共生し ゼロカーボンを進めるまち かごしま

「自然と共生し」

農林水産物や太陽光などの再生可能エネルギーを私たちの生活に生かすとともに、自然からの恩恵に感謝し、環境に配慮した生活が市民に定着した状態を表現しました。

「ゼロカーボンを進めるまち」

2050(令和32)年の「ゼロカーボンシティかごしま」実現を目指し、行動・技術・仕組みが脱炭素型へと本格的に変容していくイメージを表現しました。

基本方針

望ましい環境像を実現するために、環境保全に係る「地球環境」、「資源循環」、「自然環境」、「生活環境」の4つの分野、さらに、それぞれの分野における施策を展開していくために必要となる共通の・基盤的な分野を加えた、5つの基本方針に基づき、市民・事業者・市民活動団体・行政が一体となって、総合的・体系的に取組を推進していきます。

また、本計画は、SDGs(持続可能な開発目標)の視点を取り入れて取組を推進することとしており、各基本方針には、関連するSDGsのゴールを記載しています。

1 ゼロカーボンシティかごしまの推進

2 循環型社会の構築

3 人と自然が共生する都市環境の構築

4 生活環境の向上

5 エコスタイルへの転換

ゼロカーボンとは？

ゼロカーボンとは、人間の活動から出るCO₂の量と森林などが吸収するCO₂の量が等しくなる状態のことです。本市は、2050年までにCO₂排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティかごしま」への挑戦を宣言し、市民や事業者等と一体になって取組を進めています。

本計画では、その実現を目指して望ましい将来像を掲げて取組を推進します。



基本方針 1 ゼロカーボンシティかごしまの推進

地球温暖化対策に積極的に取り組み、「ゼロカーボンシティかごしま」の実現に向けた取組を加速させます。また、地球温暖化が要因と考えられる気象災害等による被害の回避や軽減を図るため、適応策の取組を積極的に進めます。

基本目標

① CO₂排出量の削減

- ・省エネルギーを推進します。
- ・運輸部門の脱炭素化を推進します。



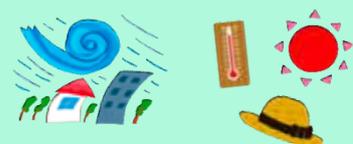
② 再生可能エネルギーの地産地消の推進

- ・再生可能エネルギーの導入拡大を図ります。
- ・電気自動車等や水素エネルギーの普及を促進します。



③ 気候変動適応策の推進

- ・自然災害による被害の防止・軽減を図ります。
- ・熱中症や感染症に関する知識などの普及啓発を行います。



数値目標(抜粋)

指標	現況値 (2020(令和2)年度) (2018(H30)年度)	2026目標値 (2026(令和8)年度)	2031目標値 (2031(令和13)年度)
エネルギー消費量削減率 (2013(平成25)年度比)	-11.8%	-21.3%	-27.3%
再生可能エネルギーによる 発電量	662,000MWh	752,000MWh	827,000MWh



基本方針 2 循環型社会の構築

循環型社会の構築に向けて、廃棄物の排出抑制をはじめとする 3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進や、エネルギー源としての廃棄物の有効利用などに取り組みます。



基本目標

① 3Rの推進

- ・ごみの減量化・資源化を推進します。
- ・プラスチックの資源循環に取り組みます。



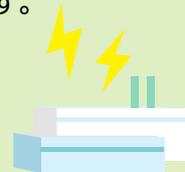
② 廃棄物の適正処理の推進

- ・まごころ収集^{※1}など、超高齢社会等に配慮した収集・運搬を推進します。
- ・不法投棄等を防止するため、監視・指導体制を強化します。



③ エネルギー源としての廃棄物の有効利用

- ・南部清掃工場(バイオガス^{※2}施設・高効率発電施設)の運営を行います。



数値目標(抜粋)

指標	現況値 (2020(令和2)年度)	2026目標値 (2026(令和8)年度)	2031目標値 (2031(令和13)年度)
市民1人1日当たりごみ・資源物の排出量	946g/人日	880g/人日	838g/人日
ごみ1トン当たりの発電量	416kWh/t	469kWh/t	492kWh/t

基本方針 3 人と自然が共生する都市環境の構築

人は自然の中に生かされているという認識を持ち、生物多様性^{※3}の保全・活用や水と緑の豊かな美しいまちづくりに取り組み、人と自然が共生し、うるおいと安らぎを感じられる環境を整え、次の世代に引き継いでいきます。



基本目標

① 生物多様性の保全と活用

- ・森林等の保全や、外来種の駆除等を行います。
- ・生物多様性の恵みを、暮らしや経済活動の資源として活用します。



② 緑の保全と花や緑の充実

- ・市街地に残る一団の緑地を保全するとともに、都市緑化を推進します。
- ・市民等との協働による花と緑で彩るまちづくりを推進します。



③ 公園緑地の充実

- ・公園整備などにより身近な公園・広場の創出・拡充を図ります。
- ・公園施設のバリアフリー化など、誰もが使いやすく親しまれる公園等の充実を図ります。



数値目標(抜粋)

指標	現況値 (2020(令和2)年度)	2026目標値 (2026(令和8)年度)	2031目標値 (2031(令和13)年度)
「かごしま生きものラボ」を授業等で活用している小学校の割合	61.7%	89.0%	95.0%
屋上・壁面緑化の整備面積	17,348㎡	18,300㎡	18,800㎡

※1 まごころ収集:鹿児島市が行っている、家庭から出されるごみ・資源物をごみステーションまで運ぶことが困難な高齢者や障害者などを対象に戸別収集を行うサービスのことで、
 ※2 バイオガス:再生可能エネルギーの一つで、生ごみ・紙ごみ等を微生物の働きによって発酵させて発生する可燃性ガスのことで、
 ※3 生物多様性:生きものの豊かな個性と、それぞれが支えあって生きているつながりのことで、

基本方針 4 生活環境の向上

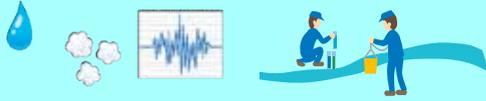
さわやかな大気と清流に恵まれた、市民が健康で安全に生活することができる環境を保全するとともに、鹿児島らしい景観づくりを進め、豊かさを実感できる生活環境の向上を推進します。



基本目標

① 良好な環境の保全

- ・水質、大気、騒音・振動、化学物質などの監視・調査を継続します。
- ・アスベスト対策を推進します。



② 清潔で美しいまちづくりの推進

- ・環境美化活動の支援や衛生害虫の駆除を行います。
- ・鹿児島らしい良好な景観形成を促進します。



数値目標(抜粋)

指標	現況値 (2020(令和2)年度)	2026目標値 (2026(令和8)年度)	2031目標値 (2031(令和13)年度)
大気の汚染に係る環境基準達成率(二酸化窒素)	100%	100%	100%
まち美化地域指導員の認定数	3,234人	4,074人	4,774人

基本方針 5 エコスタイルへの転換

私たち一人ひとりが自主的かつ積極的に環境に配慮した行動に取り組めるように、環境学習や環境教育を推進するとともに、みんなで考え協働するまちをつくります。



基本目標

① 環境学習・環境教育の推進

- ・かごしま環境未来館を拠点に環境学習を推進します。
- ・学校や地域での環境教育・環境保全活動を促進します。



② 多様な環境情報の発信

- ・かごしま環境未来館のホームページ等を活用し、環境情報を収集・発信します。

③ 主体間連携の推進

- ・市民や事業者に対する意識啓発を行います。
- ・かごしま環境未来館を中心とした協働・連携を推進します。



数値目標(抜粋)

指標	現況値 (2020(令和2)年度)	2026目標値 (2026(令和8)年度)	2031目標値 (2031(令和13)年度)
かごしま環境未来館の利用者数	91,945人	130,000人	149,500人
グリーンオフィスかごしま認定事業所数	795事業所	950事業所	1,100事業所

鹿児島市 環境局 環境部 環境政策課
〒892-8677 鹿児島市山下町11番1号
電話 099-216-1296
発行 2022(令和4)年6月

計画の本編は、
市ホームページに
掲載しています。



第三次鹿児島市環境基本計画